

実質公債費比率について

施設整備等の際の借入金を返済する予算を公債費といいます。この公債費の負担度合いを判断する指標が実質公債費比率です。実質公債費比率は、標準的な収入に対する公債費（見込まれる収入を除いた額）の割合で、数値が小さいほど、公債費の負担度合いが小さいことを示します。

	H28	H29	H30	R元	R2 (速報値)
船橋市	-0.1%	0.0%	0.0%	0.7%	1.9%
千葉市	17.3%	15.8%	13.8%	12.9%	11.8%
柏市	4.3%	4.1%	2.9%	2.2%	2.5%
市川市	0.0%	0.7%	1.3%	1.6%	1.7%
松戸市	0.9%	0.9%	1.0%	0.6%	1.0%
浦安市	5.2%	6.6%	7.4%	8.3%	7.8%

※船橋市のR2決算の1.9%は、中核市62市中、小さい方から10番目

将来負担比率について

将来負担する借入金の残高等の度合いを判断する指標が将来負担比率です。将来負担比率は、将来負担する借入金の残高等から、貯金や見込まれる収入を除いた額が、標準的な収入に対して、どれくらいの割合あるかを示した数値です。この数値が小さいほど将来負担の度合いが小さいことを示しています。

	H28	H29	H30	R元	R2 (速報値)
船橋市	—	7.5%	15.7%	24.1%	24.3%
千葉市	186.2%	159.4%	145.5%	138.3%	128.8%
柏市	—	—	—	—	—
市川市	—	—	—	—	—
松戸市	—	5.2%	2.4%	—	2.4%
浦安市	12.9%	4.8%	15.9%	33.4%	38.5%

※船橋市のR2決算の24.3%は、中核市62市中、小さい方から26番目

(参考)

将来負担する借入金の残高等よりも、貯金や見込まれる収入の額の方が大きい場合は「—」で表示されます。なお、船橋市においてもH21からH28決算までは「—」の表示となっていました。